館　　報

令和７年度



川越市立博物館

目　　次

1　博物館基本構想 …… 4

2　川越市立博物館の基本的運営方針 …… 6

3　沿革 …… 8

4　施設概要

(1) 川越市立博物館 …… 12

(2) 川越城本丸御殿 …… 14

(3) 川越市蔵造り資料館 …… 15

5　運営・管理

(1) 組織と事務分掌 …… 17

(2) 博物館協議会 …… 18

(3) 博物館予算（当初予算） …… 18

(4) 入館者の状況 …… 19

(5) 入館券販売状況 …… 20

(6) 入館者数の推移 …… 21

(7) 刊行物 …… 22

①展示図録等 …… 22

②学校教育のための博物館の手引き『やまぶき』 …… 24

③文書目録等 …… 25

④博物館だより …… 27

6　展示事業

(1) 企画展示等 …… 30

(2) ふるさとのまつりコーナー展示 …… 32

(3) ギャラリー展示 …… 32

(4) 展示解説 …… 33

7　教育普及事業

(1) 講座･教室等の開催 …… 34

①こどもを対象とした事業 …… 34

②大人を対象とした事業 …… 34

(2) 博物館ボランティア …… 36

①ジュニアボランティア …… 36
②市民ボランティア …… 37
(3) 博物館同好会 …… 38
(4) 松平大和守家記録を読む会 …… 38
8　学校教育との連携事業
(1) 学校教育との連携事業 …… 39
①学校の利用状況 …… 39
②バス利用による博物館学習 …… 39
③小学校社会科「県内の特色ある地域」の学習を目的とした
学校への支援 …… 40
④博物館職員による訪問授業 …… 40
⑤「わたしたちの郷土川越展」 …… 41
(2) 教員対象の連携事業 …… 41
①博物館利用研究委員会 …… 41
②川越の歴史を学ぶティーチャーズセミナー …… 42
(3) 研修会等の受け入れ …… 42
①川越市立小・中学校初任者研修 …… 42
②社会体験事業 …… 42
③姉妹・友好都市交流事業 …… 43
(4) 博物館実習 …… 43
9　資料の収集保管・活用
(1) 資料の収集 …… 44
①令和７年度購入資料 …… 44
②令和７年度寄贈資料 …… 44
③令和７年度末現在の館蔵資料（整理済分） …… 44
(2) 資料目録の作成 …… 44
(3) 資料特別利用 …… 44
(4) 資料館外貸出 …… 44
(5) レファレンス …… 44
(6) 撮影・取材協力 …… 44
10　利用案内
(1) 入館料 …… 45
(2) 開館時間 …… 45
(3) 休館日 …… 45

1　博物館基本構想

設置の目的

川越市には、先人の残した歴史的遺産が今なお多くあり、その一部は貴重な文化財として指定され保存と活用が図られている。更に、効果的に活用し、教育・学術・文化の発展に寄与するためには、文化財資料の収集・保存、調査・研究、教育普及活動の充実が望まれる。

しかし、今までそれらに関する施設に乏しく、市民の要望を十分に満たしえない状況にあった。

この度、市制 60 周年記念事業の一環として、生涯学習のかなめとなる川越市立博物館が設置されたのは、こうした状況をふまえ、市民一人一人の人間性豊かな教育と文化づくりをめざし、郷土川越の歴史と文化に対する認識を深め、郷土に誇りを持ち、市民の愛郷心の育成に資することを目的としたものである。

基本的性格

川越市の歴史を理解することにより、現在の姿を明らかにし、市民が将来のくらしと文化を創造することに役立つ博物館とする。

1　川越市の歴史と文化が総合的に理解できる博物館とする。
2　考古、歴史、民俗、美術・工芸等を扱う人文系歴史博物館とする。
3　市民が自主的に参加できる博物館とし、市民の知的レクリェーションのセンターとして、誰もが親しめる開かれた生涯学習の場とする。
4　児童・生徒等の学習活動を援助しうる博物館とする。
5　市内外の文化財関係施設と連携をとり、文化財の有効な活用を図る。
6　博物館・文化財関係の情報サービスを整備・充実して利用者の便宜を図る。
7　他の関係機関との連携を密にし、館みずからも時代の進展と市民の要請に対応して発展できる力を備える。

博物館の機能

1　資料の収集、調査・研究

川越市を中心的な収集地域とし、更に川越に関係のある郷土資料を広範囲かつ系統的に収集し調査研究する。

考古、歴史、民俗、美術・工芸等の資料およびこれに関する複製品等の他、写真・テープ等の二次資料も収集する。特に、近世の資料に重点を置く。

2　保存管理

収集資料は、分類整理のうえ収蔵庫等で保存・管理し、保存環境・資料変化を監視し保存の万全を図る。

台帳を整備し、統一的な保存管理を行うとともに、常設展示資料の保存を考え計画的な管理を行う。

3　展示事業

博物館基本構想をふまえ、理解しやすく、親しみやすい博物館の展示を考える。

特別展示・企画展示は、常設展示を更に深めると共に、新しい資料の紹介や市民の要望等価値観の多様化に対応できるものを企画する。

4　教育普及事業

講座・講演会・研究会・映写会・体験学習ほか各種研修会等を教育的配慮のもとに行うと共に、これら事業に必要な教材・教具の開発・製作を行う。

博物館事業に対する理解と啓蒙を深めるために、各種の印刷物等を刊行し情報を提供する。

学校教育・社会教育への指導・援助・協力の他必要な活動を行う。

展示の基本理念

1　常設展示では、川越地方の歴史の発展と文化の変遷を系統的に位置付けて展示する。展示の構成としては、原始・古代、中世、近世、近・現代の歴史展示および民俗展示とし、川越地方の歴史が総合的に理解できるようにする。

特に、近世に重点を置く。また、美術・工芸は歴史資料としての観点から取り扱い、おおむね近代までのものとする。

2　原始・古代では、発掘調査等の成果を活用し、当時の生活・文化の様相を展示し、中世では、平安末期から戦国期に至る川越地方の武家社会の成立過程を展示する。近世では、江戸を支えた城下町川越の生活・文化の特色、近代では、産業の振興を中心に市制の発展過程と生活・文化の様子を展示する。

民俗では、今日の川越の特色をつくってきた職人の技、そして村方・町方の生活文化を支えてきたさまざまな祭り等の儀礼を計画的に展示する。

（平成２年３月）

２　川越市立博物館の基本的運営方針

【使命】

川越市立博物館は、市民一人一人の人間性豊かな教育と文化づくりを目指し、郷土川越の歴史と文化に対する認識と誇りを深めることで、市民の郷土愛の育成に資することを目指します。

先人が残した川越ゆかりの歴史的遺産を効果的に活用し、教育、学術、文化の発展に寄与するために、市民をはじめ、全ての人たちに対して、より広い視点に立って充実した活動を行ってまいります。

川越ならではの特色を生かし、有形または無形の文化的所産その他の文化に関する資源の観覧、文化資源に関する体験活動、その他の活動を通じて文化についての理解を深めることを目的とする文化観光にも取り組んでまいります。

【目標】

１　川越の歴史・文化の新たな魅力を見出すため、郷土ゆかりの資料を収集するとともに、収蔵資料の管理・活用を推進します。

２　展示をはじめ様々な媒体により、川越ゆかりの文化資源について、文化的・歴史的背景を掘り下げ、時代の変化に応じた効果的な魅力の発信に努めます。

３　子どもたちが川越の歴史・文化に興味・関心を持ち、郷土に誇りをもてるように学校教育との連携を推進します。

４　市民の学習ニーズに応じた「川越の歴史で学び、川越の歴史で楽しむ」をテーマに、世代を超えて質の高い生涯教育の機会を提供し、郷土愛の醸成を図ります。

５　すべての人が安全で快適に利用できるために、施設・設備の維持管理を行うとともに、危機管理・安全・快適性に対する職員の意識向上を目指します。

【活動方針】

使命・目標の達成のため以下の活動を実践します。

●博物館の基本的機能としての業務遂行

（１）資料収蔵管理マニュアルに基づく資料収集の推進

（２）資料収蔵管理マニュアルに基づく収蔵資料の管理・活用の推進

（３）デジタル化による活用に向けた収蔵資料のデータ化の推進

●博物館情報の公開と発信

（１）展示など館活動の情報発信

（２）館蔵資料についての情報公開と魅力発信

（３）郷土の歴史・文化に関する情報発信

●郷土愛の醸成につながる事業の展開

（１）川越ゆかりの展示の充実

（２）川越ゆかりの講座・教室の充実

（３）川越ゆかりの体験型事業の充実

●子どもたちの郷土愛を育む学校教育との連携

（１）学校教育支援についての研究と実践

（２）博物館活用(バス利用)による学校教育支援

（３）学校訪問授業による郷土学習支援

●すべての人にとって安全・安心・快適な空間の提供

（１）計画的な施設・設備の維持管理

（２）施設・設備に対する職員の問題意識向上の促進

（３）利用者の視点に立った、より良い施設運営

（令和６年３月）

３　沿　革

昭和５３年１２月　川越市郷土博物館建設資金積立基金条例を制定する。
昭和５６年　８月　川越市郷土博物館基本構想検討委員会規則を制定する。
昭和５７年　１月　川越市郷土博物館基本構想検討委員会に「地域文化の創造ならびに生涯学習施設の一環として郷土博物館の基本理念は如何にあるべきか。」を諮問する。
　　３月　川越市郷土博物館基本構想検討委員会条例を制定する。
　　９月　答申書「川越市立博物館基本構想」を提出する。
昭和５８年　３月　川越市総合計画基本計画に博物館新設構想が組み込まれる。
　　４月　川越市郷土博物館基本構想検討委員会条例を廃止し、川越市立博物館建設委員会条例を制定する。
　　９月　川越市立博物館建設委員会委員 20 名を委嘱する。
　１１月　博物館準備室を社会教育課内に設置する。
昭和５９年　４月　博物館準備室兼務職員辞令発令（室長以下３名）
昭和６０年　４月　博物館準備室を旧市立図書館内に置く。(室長以下５名、内指導主事１名・学芸員１名)
　　６月　川越市立博物館建設委員会が建設位置について市長あてに要望書を提出する。(候補地は市民グランドとする)
　１２月　博物館準備室が旧市立図書館から川越小学校内へ移転する。
昭和６１年　４月　博物館準備室職員は室長以下７名となる。(内指導主事１名・学芸員３名)
　　８月　川越市立博物館建設委員会が中間答申を提出する。
　　８月　建設基本設計は指名設計競技（指名コンペ）により実施することを決定する。
　１０月　展示基本設計は計画提案（プロポーザル）により実施することを決定する。
　１１月　（仮称）川越市立博物館展示指名設計競技業者説明会を開催す（７社参加）
　　（仮称）川越市立博物館展示指名設計競技作品受付。
　１２月　（仮称）川越市立博物館展示指名設計競技審査会を開催する。株式会社丹青社に決定。
　１２月　（仮称）川越市立博物館建築指名設計競技建築コンペ業者説明会を開催する。(11 社参加)
昭和６２年　２月　（仮称）川越市立博物館建築指名設計競技建築コンペ作品受付。（９社参加）
　　３月　（仮称）川越市立博物館建築指名設計競技審査会を開催する。
　　株式会社建築研究所アーキヴィジョンに決定。
昭和６３年　２月　臨時市議会において博物館新築工事請負契約が議決される。
　　・仮称川越市立博物館新築工事：佐田建設株式会社
　　・同　電気設備工事：共和・荻野特別共同企業体
　　・同　空調その他設備工事：第一・石塚特別共同企業体
　　３月　博物館建設工事の起工式が行われる。

１２月　定例市議会において展示工事請負契約が議決される。
・仮称川越市立博物館展示工事：株式会社丹青社
平成　元年　４月　博物館準備室職員、室長以下 11 名となる。
７月　博物館建築関係工事が完了する。
８月　博物館準備室が博物館内に移転する。
９月　川越市立博物館建設委員会が第２次中間答申を提出する。
９月　学校との連携を進めるために博物館利用研究委員会を設置する。
１２月　川越市立博物館条例が制定される。
平成　２年　２月　川越市立博物館建設委員会が最終答申を提出する。
２月　展示工事が完了する。
２月 28 日　川越市立博物館竣工式典を開催する。
３月 １日　川越市立博物館が開館する。開館記念特別展を開催する。
７月　開館以来の入館者が 10 万人となる。
１１月　博物館の建物が埼玉景観賞に選ばれる。
平成　３年　３月　『やまぶき〈学校教育のための博物館活用の手引き〉』を発行する。
平成　４年　５月　川越ライオネスクラブ結成５周年を記念して、「石の長いす」２基の寄贈を受ける。
７月　市制施行 70 周年を記念して、川越市自治会連合会より「シラカシ」の寄贈を受ける。
１１月　川越城本丸御殿南門設置工事を実施する。
１２月　川越市立博物館が登録博物館として登録される。
平成　５年　１月　開館以来の入館者が 50 万人となる。
３月　市制施行 70 周年を記念して、川越造園組合より「けやき」と「水琴窟」の寄贈を受ける。
３月　川越中央ライオンズクラブより、川越城本丸御殿玄関脇に「コウヤマキ」の寄贈を受ける。
１２月　「初雁文化章受章者三人展」展示図録が、第 35 回全国カタログ・ポスター展（主催：日本印刷産業連合会他）で通商産業省生活産業局長賞を受賞する。
１２月　川越市立博物館が第４回公共建築賞(主催:社団法人公共建築協会)で優秀賞を受賞する。
平成　７年　９月　開館５周年記念特別展を開催する。
１１月　開館以来の入館者が 100 万人となる。
１１月　川越市立博物館が平成７年度教育功労者及び優良教育施設・団体表彰式で表彰される。
平成　８年　４月　アイスランド共和国大統領が来館する。
５月　川越市立博物館制作のビデオ作品「新河岸川の舟運」が、埼玉県の平成７年度市町村広報コンクール広報ビデオ委託制作の部で特選となる。
８月　川越市立博物館制作の「新河岸川の舟運」が、平成７年度全国広報コンクール（主催：社団法人日本広報協会）の広報ビデオ委託制作の部で入選する。
平成１０年　９月　台湾地域民俗文物協会の「日本の民俗文物館視察団」が来館する。

平成１１年　５月　開館以来の入館者が 150 万人となる。
平成１２年　６月　展示解説指導員による常設展示定時解説を始める。
１０月　開館 10 周年特別展を開催する。
平成１３年　２月　博物館資料管理システムを導入する。
４月　市内小中学校にＥメールによる情報提供を開始する。
８月　平成 12 年度埼玉県教育広報コンクールにおいて「博物館だより」が入賞する。
１１月　博物館同好会による「博物館文化祭」を開催する。
１１月　埼玉大学とフレンドシップ事業を実施する。
平成１４年　４月　学校週５日制が完全実施されるのに伴い、土曜体験教室を月２回（第２・第４土曜日）実施とする。
１１月　博物館協議会に「博物館の常設展示の在り方について」を諮問する。
１２月１日　川越市立美術館が開館する。
平成１５年　４月　開館以来の入館者が 200 万人となる。
５月　小中学生の博物館・川越城本丸御殿・蔵造り資料館の入館料を無料とする。
平成１６年　３月　博物館協議会が「博物館の常設展示の在り方について」を答申する。
１０月　入間川流域の４市１村（川越市・狭山市・入間市・飯能市・名栗村）の合同企画展示「入間川再発見！－身近な川の自然・歴史・文化をさぐってー」を開催する。
平成１７年　２月　川越市立博物館常設展示検討委員会を設置する。
１１月　「川越市立博物館協議会の委員の公募に関する実施要領」を定め、平成 18 年度より博物館協議会委員の公募を始める。
平成１８年　２月　川越城が財団法人日本城郭協会より「日本 100 名城」の選定を受ける。（平成 19 年６月より 100 名城を探訪するスタンプラリーが開始される。）
４月　博物館市民ボランティアによる本丸御殿・蔵造り資料館ガイドを開始する。
７月　博物館のホームページをリニューアルする。
平成１９年　３月　行啓幸を記念して、川越緑地協会より「松」の寄贈を受ける。
１１月　平成 19 年度市町村立美術館活性化事業第８回共同巡回展「北大路魯山人　世田谷美術館所蔵塩田コレクション」（助成：財団法人地域創造）を市立美術館と共同で開催する。
１２月　開館以来の入館者が 250 万人となる。
平成２０年　６月　サツマイモ資料館が閉館となり、収蔵資料が博物館に寄贈となる。
１０月　川越城本丸御殿保存修理工事が始まる。
平成２１年　３月　常設展示検討委員会が「常設展示見直しの基本計画について」を提出する。
平成２２年　８月　博物館情報のメール配信サービスを開始する。
１０月　開館 20 周年特別展を開催する。
１１月　川越市立博物館常設展示改装等庁内検討委員会を設置する。
平成２３年　３月　川越城本丸御殿保存修理工事が竣工する。
１０月　埼玉県立川越高等学校創立 110 周年を記念して、同校同窓会より川

越城図の碑の寄贈を受ける。(川越城本丸御殿正面南側に設置)

平成２４年　３月　博物館協議会と常設展示検討委員会が「川越市立博物館常設展示見直しに関する提言」を提出する。

７月　蔵造り資料館添屋まちなみ散策ステーション「ぷらっと」を開設。蔵造りの町並みを楽しむための散策マップ等を設置。

平成２５年　７月　開館以来の入館者が 300 万人となる。

平成２６年１０月　柳澤吉保没後 300 年記念特別展を市立美術館と共同で開催する。

平成２７年１０月　開館 25 周年特別展を開催する。

平成２８年　８月　川越市立博物館収蔵施設庁内検討委員会を設置する。

平成２９年　６月　川越市蔵造り資料館店蔵ほか耐震化工事が始まる。

１０月　家康没後 400 年記念特別展「徳川家康と天海大僧正－家康の神格化と天海－」を開催する。

平成３０年１０月　川越市蔵造り資料館店蔵ほか耐震化工事が工事受注者倒産のため契約解除となる。

１１月　開館以来の入館者が 350 万人となる。

令和　２年　３月　新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、３日から臨時休館（令和２年６月 18 日まで）する。

６月　新型コロナウイルス感染症対策のため、入館制限を始める。

１２月　新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、28 日から臨時休館（令和３年３月 21 日まで）する。

令和　３年　７月　東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会開催に向けた記念特別展「霞ヶ関カンツリー倶楽部と発智庄平－川越にオリンピックがやってくるまでー」を開催する。

令和　４年１１月　川越市市制施行 100 周年記念特別展「川越なつかし写真館」を開催する。

令和　５年　４月　博物館法改正に伴い川越市立博物館条例を一部改正する。

７月　川越市蔵造り資料館店蔵耐震化工事が始まる。

１２月　来館者用トイレ改修工事を行う（４日から令和６年３月 15 日まで臨時休館）。

令和　７年　３月　川越市立博物館が改正博物館法に規定する博物館として博物館登録原簿に登録される。

4　施設概要

（１）川越市立博物館



所 在 地　川越市郭町２丁目 30 番地１

敷地面積　5606.17 ㎡

建築面積　3368.11 ㎡

延床面積　3985.97 ㎡

構造規模　鉄筋コンクリート造　一部鉄骨鉄筋コンクリート及び鉄骨造

建物高　16.20m　　階数　地上３階・地下１階

各室面積　展示部門

常設展示室 982.43 ㎡　特別展示室 232.06 ㎡　ギャラリー195.68 ㎡

展示準備室 46.44 ㎡　展示ホール・受付 65.77 ㎡

教育普及部門

視聴覚ホール 117.00 ㎡　歴史案内ルーム 60.36 ㎡　映写室 14.96 ㎡

体験学習室 123.14 ㎡　図書閲覧室 39.97 ㎡

学芸研究部門

文献資料室 39.93 ㎡　資料調査室 50.11 ㎡　補修工作室 51.15 ㎡

スタジオ 29.94 ㎡　暗室 6.00 ㎡

保管部門

一般収蔵庫 562.60 ㎡　特別収蔵庫 122.14 ㎡　収蔵庫前室 28.61 ㎡

荷受室 57.30 ㎡　荷解室 54.60 ㎡　燻蒸室 25.65 ㎡

機材庫 20.52 ㎡

管理・一般部門

事務学芸員室 95.25 ㎡　応接室 29.19 ㎡　会議室 54.66 ㎡

休養室 15.38 ㎡　シャワー室・脱衣室 5.28 ㎡　湯沸室 3.60 ㎡

更衣室 12.37 ㎡　職員用便所 17.34 ㎡　廊下 184.14 ㎡

休憩スペース 76.09 ㎡　厨房 10.20 ㎡　エントランスホール184.84 ㎡

風除室 11.70 ㎡　来館者用便所 34.05 ㎡　身障者用便所 4.84 ㎡

ミュージアムショップ4.18 ㎡　倉庫 16.55 ㎡　エレベータ室 29.20 ㎡

エレベータ前室 32.52 ㎡　エレベータ機械室 15.22 ㎡

空調機械室（B１F）119.80 ㎡　空調機械室（２F）12.47 ㎡

機械室（３F）28.50 ㎡　その他 62.24 ㎡

建築物外

中庭(１)84.00 ㎡　中庭(２) 176.15 ㎡　体験フィールド 204.00 ㎡

屋外展示室 143.00 ㎡　屋外展示室植栽 73.95 ㎡

工事関係者一覧

○ 設計・監理　株式会社建築研究所アーキヴィジョン
○ 監　　理　川越市建設部営繕課
○ 建築・外構　佐田建設株式会社
○ 電　　気　共和・荻野特別共同企業体
○ 空調・給排　第一・石塚特別共同企業体
○ ガ　　ス　株式会社武州瓦斯
○ 収納棚・書架　株式会社ハシモト
○ CATV 設置工事　DXアンテナ株式会社
○ 展示設計監理　株式会社丹青社
○ 監　　理　川越市教育委員会博物館準備室
○ 展示工事　株式会社丹青社
○ ビデオルーム映像システム設置工事　埼玉ナショナル通信特機株式会社

建設事業費　（単位：千円）

節	説　明	合計金額	昭和 62 年度	昭和 63 年度	平成元年度
委託料 59,750	建築実施設計	32,500	32,500	－	－
	建築工事設計監理	14,400	－	7,200	7,200
	展示実施設計	12,750	2,900	9,850	－
	テレビ電波障害調査	100	100	－	－
工事請負費 1,776,024	本体工事	939,800	20,000	487,000	432,800
	電気工事	104,800	20,000	－	84,800
	空調工事	158,000	20,000	－	138,000
	外構工事（１）	71,266	－	20,000	51,266
	外構工事（２）植栽	31,621	－	－	31,621
	展示工事	400,000	－	20,000	380,000
	積層収蔵庫工事	23,876	－	－	23,876
	ＱＡ設置等設備工事	37,492	－	－	37,492
	館内電話設置工事	1,082	－	－	1,082
	可動書架設置工事	1,187	－	－	1,187
	博物館ガス工事	4,650	－	－	4,650
	ＣＡＴＶ設置工事	2,250	－	2,250	－
使用料		10	－	－	10
備品購入費 35,316	事務学芸員室等庁用器具	21,338	－	－	21,338
	視聴覚ホール音響関係	5,120	－	－	5,120
	燻蒸庫	8,858	－	－	8,858
旅　費	普通旅費	380	94	149	137
需用費	消耗品他	120	29	10	81
負担金	負担金（水道）	3,000	－	－	3,000
	合　　計	1,874,600	95,623	546,459	1,232,518

・国庫補助金

公立社会教育施設整備費補助金　　129,000 千円

（２）川越城本丸御殿

所 在 地　川越市郭町２丁目 13 番地１

敷地面積　2,178 ㎡

延床面積　802.06 ㎡

構　　造　木造平屋建

建築年代　嘉永元年（1848）



文化財指定　〔名　　称〕川越城本丸御殿及び家老詰所

〔指定年月日〕昭和 42 年３月 28 日、追加指定平成３年３月 15 日

〔指定　番号〕埼文指第 217 号

〔種　　別〕埼玉県指定有形文化財(建造物)

〔員　　数〕2 棟

概要　沿革　川越城本丸御殿は、川越藩主松平斉典が嘉永元年（1848）に造営したものである。現在はその玄関部分と家老詰所が保存されており、それらは埼玉県指定文化財となっている。現存する建物は、当時の御殿 16 棟 1,025 坪の一部で、唐破風造りの玄関と広間・鎗之間・使者之間・使番詰所・番抜老躰詰所・物頭詰所・徒詰所・坊主部屋などの諸部屋及び昭和 63 年度に移築復原された家老詰所である。

川越城は明治維新後荒廃が進み、明治３年（1870）には建物等を廃棄して城地を開墾することが許可されている。明治４年の廃藩置県により、川越藩が川越県となりやがて入間県になると、入間県庁が本丸御殿の玄関部分で開庁した。その後建物は入間郡公会所となり、明治 14 年から 19 年まで入間高麗郡立中学校として使われた。明治 32 年県立川越中学校（現県立川越高校）開設にともない、入学試験と始業式がここで行われた。その後、大正７年（1918）から昭和７年（1932）まで専売局淀橋支局川越分工場として煙草工場となった。昭和 8 年には川越地方武道奨励会の修練道場となり、名称も「初雁武徳殿」となる。戦後は市立川越第二中学校（現市立初雁中学校）の仮校舎・屋内運動場として一時使用された。

主な保存修理工事

①昭和 42 年７月～ 昭和 43 年２月　復元修理工事

（総工事費：12,660,436 円・県費補助：3,000,000 円・市　費：5,253,986 円・寄　付　金：4,406,450 円）

②平成 20 年 10 月～平成 23 年２月　保存修理工事

（総工事費：207,585,000 円・県費補助：95,454,000 円・市費：112,131,000 円）

③平成 22 年７月～平成 23 年２月　倉庫棟等保存修理工事

（市　　費：21,210,000 円）

④平成 22 年 12 月～平成 23 年３月　中庭等整備工事

（みどりの募金：4,971,750 円）

（３）川越市蔵造り資料館



所 在 地　川越市幸町７番地９

敷地面積　674.19 ㎡

延床面積　322.57 ㎡

構　　造　土蔵造２階建

建築年代　明治 26 年（1893）

文化財指定　〔名　　称〕旧小山家住宅
（店蔵、袖蔵）
〔指定年月日〕昭和 56 年 12 月 25 日
〔指定　番号〕川文指第 115 号
〔種　　別〕川越市指定有形文化財(建造物)
〔員　　数〕２棟

文化財指定　〔名　　称〕旧小山家住宅
（住居棟、一番蔵、二番蔵、三番蔵、便所棟、稲荷社、門、塀）
〔指定年月日　平成 27 年 11 月 20 日
〔指定　番号〕川文指第 236 号
〔種　　別〕川越市指定有形文化財(建造物)
〔員　　数〕６棟４基

概要　沿革　川越市蔵造り資料館は、煙草商を営んでいた小山家（屋号「万文」）の屋敷で、明治 26 年（1893）の大火後に四代目小山文蔵によって再建された。

通りに面して大小２棟の店蔵が並んでいるが、小さい棟は貸店舗などに利用された添屋と考えられ、明治 35 年（1902）発行の埼玉県営業便覧には「鐵物商」と記載されている。

敷地内には、店蔵に接して２階建ての住居棟（中の間・来客用の座敷などで構成されるが、一部現存せず）、その奥に文庫蔵（一番蔵）、井戸を挟み煙草蔵（二番蔵）、文庫蔵（三番蔵）と続いている。さらにその奥に便所棟がある。店蔵の南にはアーチの門を設け、それに続き敷地の南から西にかけて矩折れにレンガ塀を巡らす。一番蔵の北側にもモルタル掃き付けによるドイツ壁仕上げのレンガ塀を設けている。稲荷社は、屋敷の南西の隅に溶岩を用いた基壇の上に置かれている。

店蔵は、明治の大火直後の４月に上棟されており、外壁を黒漆喰で仕上げた２階建て、切妻造り平入桟瓦葺きの建物である。棟は現在塼斗積みとなっているが、当初は箱棟となっていた。また、軒の出が浅い建物形態であるため２階正面側から南側に連続する霧除庇を設け、観音扉窓を保護していることが特徴的である。

ここは、昭和 46 年（1971）に民間企業に所有が移り競売にかかるところ市民の保存を求める声に押されて、昭和 47 年に川越市土地開発公社が買収した。その後、民

間の料亭に貸し出されることとなり住居棟の一部が解体された所で、再び市民運動により貸し出しは中止となった。昭和 52 年（1977)、土地開発公社から川越市に移管され､同年 10 月に管理運営を一任された川越市文化財保護協会が｢蔵造り資料館」としてオープンさせた。

昭和 56 年（1981）には、店蔵と袖蔵（添屋）が市指定文化財となった。

昭和 58 年（1983）10 月からは、川越市教育委員会が管理運営を引き継ぎ、平成２年から当博物館が所管する施設となっている。｢添屋」は平成 15 年から平成 23 年度まで｢幸町観光案内所」､平成 24 年から｢まちなみ散歩ステーションぷらっと」として来街者への情報提供の場として活用された。

平成 11 年には､伝統的建造物群保存地区の決定に伴い店蔵他６棟とレンガ塀が伝統的建造物として特定され､平成 27 年には住居棟から稲荷社まですべての建造物が、町家の全容を示すものとして市の文化財指定を受けた。

平成 26 年度から国の「文化財建造物等を活用した地域活性化事業」の補助を受け、耐震化事業に着手した。

耐震化事業

平成 26 年度　耐震診断調査

平成 27 年度　耐震化工事実施設計

平成 29 年度　店蔵、添屋、住居棟及び一番蔵の耐震化工事を開始

平成 30 年度　10 月に受注者の破産により工事請負契約が解除となり､工事が中断。

令和元年度　工事再開に向け、修理内容等検討業務委託を実施。工事途中の建物を解体・調査し、その結果を基に建物を健全化した上で、より効果的な耐震化を図るという方針に改める。

令和２年度　蔵造り資料館店蔵等解体格納工事

令和３年度　解体調査結果に基づき、耐震化工事内容を検討。町並みの早期復原のため店蔵を先行して復原、耐震化を行うことする。

令和４年度　蔵造り資料館店蔵耐震化工事実施設計

令和５年度　蔵造り資料館店蔵耐震化工事着工（令和８年度までの予定)。木部繕い、建方、垂木掛け、野地板張り、腰板張り、杉皮張り、腰巻石灰モルタル打設、壁小舞組等を実施。

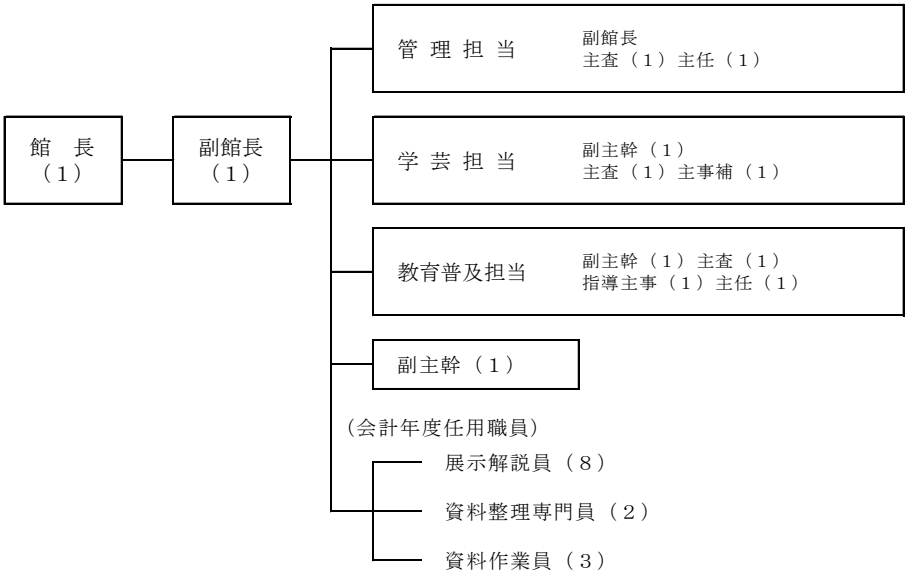
令和６年度　屋根（土居塗)、壁（荒壁表塗り・裏返し塗り、砂摺り、縄入れ、縄隠し、大津しばり)、腰巻等の左官工事を実施。令和７年２月に工事現地見学会を実施（参加者 40 名)。

令和７年度　屋根（瓦桟、瓦葺、箱棟、影盛、化粧漆喰)、壁（中塗り、斑直し､)、観音扉（下地、下塗り、中塗り)、２階室内（漆喰壁下地、中塗り、仕上げ)、１階室内（漆喰）を施工。耐震補強壁の施工。令和８年２月に工事現地見学会を実施（参加者 28 名)。

５　運営・管理

（１）　組織と事務分掌

①　組　織（令和７年４月１日）



②　事務分掌

[管理担当]

- 博物館協議会に関すること
- 保守管理に関すること
- 博物館予算に関すること
- 備品に関すること
- 防災計画に関すること
- 文書管理に関すること
- 入館統計並びに入館料に関すること
- 工事に関すること
- 減免申請に関すること
- 博物館要覧、館報に関すること

[学芸担当]

- 常設展示室の維持管理に関すること
- 借用資料等の保険に関すること
- 資料の収集保存に関すること
- 燻蒸に関すること
- 資料の貸し出しに関すること
- 収蔵庫の整理に関すること
- 特別展、企画展に関すること
- 資料の調査研究に関すること
- 分館の展示に関すること
- 研究図書の管理に関すること
- 資料の利用許可に関すること
- 博物館実習に関すること
- 広報に関すること

[教育普及担当]

- 講座、研究会に関すること
- チラシ、各種パンフレットに関すること
- 視聴覚ホールの運営に関すること
- 社会教育施設との連携に関すること
- 閲覧室用図書室の管理に関すること
- 学校教育との連携に関すること
- 展示解説に関すること
- 体験学習室に関すること
- 他の博物館等との連携に関すること

（２） 博物館協議会

① 委　員（任期：令和６年７月３０日～令和８年７月２９日）

会　長	山　野　清二郎	
副会長	水　谷　　薫	
	能　瀬　さち子	
委　員	生　駒　義　郎	利根川　　勉
	矢　部　智　史	市　川　常　善
	島　宗　　徹	河　合　正　雄
	國　分　洋　祐	武　　成　志
	羽　石　　明	丹　治　　清
	松　本　紀美子	水　島　明　子

② 協議事項

開　催　日	会　　議　　内　　容
8 月 20 日(水)	報告：令和７年度職員体制について 博物館協議会開催状況について 入館状況について 令和６年度事業報告について 令和７年度事業計画について
2 月 19 日(木)	議事：令和８年度事業計画（案）について

（３） 博物館予算（当初予算）

		当初予算額（千円）
博物館管理費		９３，７７５
事業	博物館一般事務	１，６４０
	博物館運営管理	３６，９０９
	博物館の充実	２６，６０６
	資料収集保存・調査研究	１１，９１７
	蔵造り資料館運営管理	４１４
	本丸御殿運営管理	１６，２８９
蔵造り資料館耐震化事業費		１５７，２００

（４） 入館者の状況

① 博物館

月	開館日数	有料入館者													無料入館者				入館者合計	1日平均
		単館券		団体券		2館券		期間限定3館券		期間限定4館券		他館共通		有料入館者合計	一般	大学高校	中学生以下	無料入館者合計		
		一般	大学高校	一般	大学高校	一般	大学高校	一般	大学高校	一般	大学高校	一般	大学高校							
4月	25	1,185	94	90	0	159	4	233	165	33	2	575	178	2,718	429	689	357	1,475	4,193	168
5月	17	1,104	113	25	0	174	21	201	16	46	8	575	81	2,364	545	31	614	1,190	3,554	209
6月	24	1,045	98	34	15	162	27	158	18	56	1	421	28	2,063	713	0	3,731	4,444	6,507	271
7月	26	1,096	92	63	29	175	17	147	25	25	3	475	38	2,185	681	141	1,411	2,233	4,418	170
8月	26	1,412	148	1	0	227	39	230	39	46	3	660	103	2,908	646	19	890	1,555	4,463	172
9月	24	981	83	24	0	199	15	412	22	44	3	530	51	2,364	833	8	3,104	3,945	6,309	263
10月	26	1,314	102	48	0	171	13	179	9	77	6	707	35	2,661	1,071	50	4,066	5,187	7,848	302
11月	25	2,293	204	128	0	166	29	270	22	60	3	708	50	3,933	1,802	17	4,237	6,056	9,989	400
12月	24	816	91	25	0	76	3	87	10	14	1	330	31	1,484	1,340	7	2,397	3,744	5,228	218
1月	23	1,031	118	24	0	155	14	151	10	42	5	553	45	2,148	582	27	2,166	2,775	4,923	214
2月	23	1,225	90	8	0	156	9	164	25	57	4	602	69	2,409	683	2	2,893	3,578	5,987	260
3月	25	1,153	125	21	0	125	27	141	20	42	17	690	58	2,419	579	10	938	1,527	3,946	158
合計	288	14,655	1,358	491	44	1,945	218	2,373	381	542	56	6,826	767	29,656	9,904	1,001	26,804	37,709	67,365	234

② 川越城本丸御殿

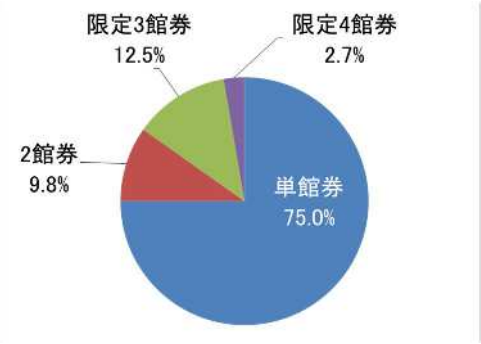
月	開館日数	有料入館者											無料入館者				入館者合計	1日平均
		単館券		団体券		期間限定3館券		期間限定4館券		他館共通		有料入館者合計	一般	大学高校	中学生以下	無料入館者合計		
		一般	大学高校	一般	大学高校	一般	大学高校	一般	大学高校	一般	大学高校							
4月	25	5,980	316	44	8	328	26	48	5	323	66	7,144	260	635	534	1,429	8,573	343
5月	26	7,482	487	283	2	299	46	89	6	317	31	9,042	444	21	1,905	2,370	11,412	439
6月	24	4,313	286	148	23	212	18	53	2	270	23	5,348	380	36	2,316	2,732	8,080	337
7月	26	3,523	272	66	0	228	20	69	0	229	33	4,440	232	48	901	1,181	5,621	216
8月	26	4,158	432	71	0	345	24	70	11	345	46	5,502	365	4	720	1,089	6,591	254
9月	24	4,395	328	103	0	306	25	86	1	360	28	5,632	287	4	1,557	1,848	7,480	312
10月	26	6,077	308	122	2	424	23	130	4	289	18	7,397	462	3	2,896	3,361	10,758	414
11月	25	7,142	424	282	1	455	32	87	3	353	23	8,802	1,293	50	3,269	4,612	13,414	537
12月	24	3,865	241	75	2	190	12	58	3	130	15	4,591	1,152	3	1,495	2,650	7,241	302
1月	23	4,299	332	103	0	356	14	76	11	220	24	5,435	279	15	1,432	1,726	7,161	311
2月	23	5,114	383	85	0	346	44	106	6	252	33	6,369	303	13	1,062	1,378	7,747	337
3月	25	5,974	536	50	0	401	34	118	6	289	50	7,458	305	22	1,021	1,348	8,806	352
合計	297	62,322	4,345	1,432	38	3,890	318	990	58	3,377	390	77,160	5,762	854	19,108	25,724	102,884	346

③ 蔵造り資料館

※耐震化工事のため休館。

（５） 入館券販売状況

①博物館



② 川越城本丸御殿



③ 二館合計



（６） 入館者数の推移

	博　物　館			
年度	開館日数	有料入館者数	無料入館者数	入館者数合計
元	25	15,758	18,796	34,554
2	293	119,434	54,357	173,791
3	282	104,495	55,764	160,259
4	284	113,018	57,392	170,410
5	282	121,157	53,552	174,709
6	283	116,985	47,888	164,873
7	285	117,026	51,299	168,325
8	282	106,571	44,487	151,058
9	281	101,908	44,536	146,444
10	277	94,351	45,434	139,785
11	280	89,968	48,271	138,239
12	282	87,474	48,274	135,748
13	285	75,981	47,835	123,816
14	287	69,198	44,426	113,624
15	285	63,365	51,708	115,073
16	290	52,183	51,176	103,359
17	291	46,486	51,485	97,971
18	286	50,284	53,057	103,341
19	294	54,178	55,549	109,727
20	289	44,829	49,989	94,818
21	287	40,489	48,533	89,022
22	288	30,449	46,714	77,163
23	293	35,239	55,507	90,746
24	291	40,394	53,924	94,318
25	285	39,558	51,799	91,357
26	292	41,498	56,707	98,205
27	289	44,616	53,409	98,025
28	295	37,855	58,661	96,516
29	293	35,592	53,971	89,563
30	294	35,213	53,941	89,154
元	268	28,037	49,419	77,456
2	161	10,773	10,332	21,105
3	292	19,770	33,671	53,441
4	294	24,780	40,631	65,411
5	212	22,316	34,725	57,041
6	290	29,097	40,861	69,958
7	288	29,656	37,709	67,365
計	10,155	2,189,981	1,755,789	3,945,770

	本丸御殿			
年度	開館日数	有料入館者数	無料入館者数	入館者数合計
元	25	9,346	1,647	10,993
2	297	83,452	27,296	110,748
3	292	84,893	31,891	116,784
4	289	91,767	32,639	124,406
5	289	113,158	35,098	148,256
6	292	111,122	30,120	141,242
7	288	108,639	33,796	142,435
8	290	103,440	28,469	131,909
9	290	101,420	28,870	130,290
10	289	92,390	28,542	120,932
11	291	95,682	29,114	124,796
12	293	90,556	29,793	120,349
13	297	87,715	30,082	117,797
14	293	83,286	24,044	107,330
15	293	84,820	32,554	117,374
16	298	70,969	29,483	100,452
17	299	69,783	30,667	100,450
18	295	77,760	33,135	110,895
19	303	103,519	35,361	138,880
20	169	60,953	19,024	79,977
21	保存修理工事のため休館			
22	5	0	8,669	8,669
23	300	96,983	40,469	137,452
24	298	94,967	35,625	130,592
25	296	101,815	34,474	136,289
26	299	100,104	36,565	136,669
27	297	118,135	36,562	154,697
28	300	122,783	47,023	169,806
29	298	119,006	37,229	156,235
30	299	113,301	36,584	149,885
元	273	92,041	31,293	123,334
2	166	28,204	11,874	40,078
3	297	47,438	26,519	73,957
4	299	70,638	29,554	100,192
5	298	88,064	29,218	117,282
6	295	84,476	26,947	111,423
7	297	77,160	25,724	102,884
計	9,789	3,079,785	1,065,954	4,145,739

	蔵造り資料館			
年度	開館日数	有料入館者数	無料入館者数	入館者数合計
元	25	7,744	1,309	9,053
2	297	84,227	26,023	110,250
3	292	88,369	31,849	120,218
4	289	98,093	32,726	130,819
5	289	113,442	37,563	151,005
6	292	114,580	33,048	147,628
7	293	115,092	34,398	149,490
8	290	114,082	29,668	143,750
9	290	110,373	30,244	140,617
10	289	97,035	30,334	127,369
11	291	94,362	31,148	125,510
12	293	88,851	31,543	120,394
13	297	87,164	30,388	117,552
14	293	80,250	25,509	105,759
15	293	64,111	32,430	96,541
16	301	51,561	30,048	81,609
17	302	46,961	31,086	78,047
18	299	47,892	29,649	77,541
19	306	57,311	31,286	88,597
20	299	53,946	29,437	83,383
21	298	64,473	29,341	93,814
22	297	42,785	27,315	70,100
23	303	40,200	32,011	72,211
24	301	42,879	32,089	74,968
25	299	47,042	31,589	78,631
26	302	45,434	32,812	78,246
27	299	49,774	30,011	79,785
28	265	29,298	92,157	121,455
29	76		74,885	74,885
30	耐震化工事のため休館			
元				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
計	8,060	1,977,331	971,896	2,949,227

（７） 刊行物

① 展示図録等

発行年度	回　数　等	刊　行　物　名　称	備考
平成元	開館記念特別展	職人絵　－姿絵にみる匠の世界－	
2	第１回企画展	うまどしの絵馬展　－その祈りとかたち－	売切れ
	第２回企画展	写真展　－明治・大正・昭和の川越－	
	第２回特別展	川越の指定文化財	
	開館１周年記念 第３回企画展	松平周防守と川越藩	
3	第４回企画展	美の先達者たち　－鏡にみる日本の美と心－	
	第３回特別展	川越の生んだ鬼才　岩崎勝平	
	市制施行 70 周年記念 第５回企画展	川越城　－失われた遺構を探る－	売切れ
		常設展示図録	
4	市制施行 70 周年記念 第４回特別展	川越ゆかりの画人たち －近世から近代に活躍した 11 人の精華－ 川越ゆかりの近代日本画の巨匠　－橋本雅邦と小茂田青樹－	
	市制施行 70 周年記念 第６回企画展	川越の名刀展	
	市制施行 70 周年記念	初雁文化章受章者三人展	売切れ
5	第５回特別展	三芳野神社の社宝	
6	没後 30 年記念	岩崎勝平　－その芸術と生涯－	売切れ
	第８回企画展	川越学事始め　－郷土史の系譜を追う－	
7	開館５周年記念 特別展	酒井忠勝にみる近世大名の姿　－川越藩祖酒井家ゆかりの品々－	
	第９回企画展	古墳時代の川越	売切れ
8	第 10 回企画展	町割から都市計画へ　－絵地図でみる川越の都市形成史－	売切れ
9	第 11 回企画展	川越氷川祭礼の展開	売切れ
	第 12 回企画展	近世陶磁への招待　－陶磁器からみた江戸時代のくらし－	
		講演集	
10	第 13 回企画展	黒船来航と川越藩	
	第 14 回企画展	中世びとの祈り　－仏像・金工品にみる祈りのかたち－	
11	第 15 回企画展	悪疫退散・五穀豊穣　－川越の獅子舞	
	第 16 回企画展	河越氏と河越館	売切れ
12	開館 10 周年特別展	徳川三代の時代と川越	
	第 17 回企画展	歴史探検　縄文時代をゆく	
13	第 18 回企画展	川越の大山信仰	
	第 19 回企画展	中世びとの祈りⅡ　－板碑のある風景－	
14	第 20 回企画展	市制施行 80 年　資料でたどる川越市の歩み	
	第 21 回企画展	はにわは語る	
15	第 22 回企画展	川越の算額と和算家	
	第 23 回企画展	刀工　藤枝英義とその時代	売切れ
16	第 24 回企画展 入間川４市１村合同企画展	「入間川再発見」　－身近な川の自然・歴史・文化をさぐって－	
	第 25 回企画展	民間信仰のかたち　－地域と講－	
17	第 26 回企画展	中世陶磁への招待　－地中からのメッセージ－	
	第 27 回企画展	川越の大絵馬　－絵柄に託された人々の願い－	
18	第 28 回企画展	柳沢吉保と風雅の世界	
	第 29 回企画展	子どもの世界　－祝いと遊び－	
19	第 30 回企画展	後北条氏と河越城	
	第８回共同巡回展	北大路魯山人　世田谷美術館所蔵塩田コレクション関連展示 食の器　－暮らしの器と魯山人の器－	売切れ
20	第 31 回企画展	大名行列　－描かれた松平大和守家の行列－	
	第 32 回企画展	諸願成就　だるまさん大集合	

発行年度	回　数　等	刊　行　物　名　称	備考
平成21	第 33 回企画展	川越城本丸御殿の杉戸絵と舩津蘭山	
	第 34 回企画展	よみがえる河越館跡 国指定史跡河越館跡の発掘　－その成果と課題	
22	開館 20 周年記念 特別展	知恵伊豆 信綱　－松平信綱と川越藩政－	
	第 35 回企画展	川越城本丸御殿竣工記念　川越城　－描かれた城絵図の世界－	売切れ
23	第 36 回企画展	名主奥貫友山と寛保２年の大水害	
	市制施行 90 周年記念 第 37 回企画展	建築家保岡勝也の軌跡と川越	
		川越城本丸御殿保存修理工事記録ＤＶＤ	売切れ
		川越城本丸御殿保存修理工事報告書	売切れ
		川越城が知りたい！	
24	市制施行 90 周年記念 特別展	譜代大名秋元家と川越藩　－川越織物の礎を築いた大名秋元家－	
	第 38 回企画展	新河岸川舟運と川越五河岸のにぎわい	
25	第 39 回企画展	戦国時代の河越　－城・城下・村－	
	第 40 回企画展	絵図で見る川越　－空から眺める江戸時代の川越－	売切れ
26	柳澤吉保没後 300 年記念 特別展	柳澤吉保とその時代　－柳沢文庫伝来の品々を中心に－	売切れ
	第 41 回企画展	古代入間郡の役所と道	
27	第 42 回企画展	妖怪　－闇にひそむ不可思議なるもの－	
	開館 25 周年記念 特別展	小堀遠州と川越藩主　－遠州と酒井忠勝の交流を中心に－	
28	第 43 回企画展	城下町川越の町人世界	
	第 44 回企画展	蔵・倉・くら　－蔵造りと川越の町並みを知ろう－	
29	徳川家康没後 400 年記念 特別展	徳川家康と天海大僧正　－家康の神格化と天海－	
	第 27 回収蔵品展	三芳野神社とその社宝	
30	第 28 回収蔵品展	戦中・戦後の川越の歩み	
	第 45 回企画展	川越とサツマイモ	
	第 46 回企画展	山王塚古墳　上円下方墳の謎に迫る	
令和元	第 47 回企画展	北武蔵剣術物語　－川越藩剣術師範大川平兵衛とその時代－	
	第 48 回企画展	川越の地口行灯　－一力斎とうろう絵の世界－	
3	東京 2020オリンピック・ パラリンピック 競技大会 開催に向けた記念特別展	霞ヶ関カンツリー倶楽部と発智庄平－川越にオリンピックがやってくるまで－	
4	川越市市制施行 100 周年記念 特別展	川越なつかし写真館	
5	第 50 回企画展	酒と宴	
6	第 51 回企画展	ノガタとサトカタ　－武蔵野の農業と技術－	
7	第 52 回企画展	川越の地口行灯　－一力斎とうろう絵の世界ふたたび－※	

※第 52 回企画展『川越の地口行灯－一力斎とうろう絵の世界ふたたび－』の図録は、第 48 回企画展の図録に一部追記したものです。

② 学校教育のための博物館の手引き『やまぶき』

	刊行年度	テ　ー　マ
第１集	平成 ２年度	各教科領域の新学習指導要領と文化財
第２集	平成 ４年度	各教科領域の新学習指導要領と文化財
第３集	平成 ６年度	地域に根ざした博物館・文化財活用を目指す各教科・領域研究
第４集	平成 ８年度	地域に根ざした博物館・文化財活用を目指す各教科・領域研究
第５集	平成 10 年度	地域に根ざした博物館・文化財活用を目指す各教科・領域研究
第６集	平成 11 年度	総合的な学習の時間における博物館活用の研究 －総合的な学習の時間における博物館活用の研究・実践
第７集	平成 12 年度	総合的な学習の時間における博物館活用の研究 －総合的な学習の時間における多様な学習形態の構想と実践－
第８集	平成 13 年度	各教科・領域及び総合的な学習の時間における博物館・文化財活用 －基礎的・基本的な内容の定着をめざす博物館・文化財活用－
第９集	平成 14 年度	各教科・領域及び総合的な学習の時間における博物館・文化財活用 －基礎的・基本的な内容の定着をめざす博物館・文化財活用－
第 10 集	平成 16 年度	教科、「総合的な学習の時間」における博物館・文化財活用 －郷土川越の学習に直結する効果的な博物館・文化財の活用－
第 11 集	平成 18 年度	教科、「総合的な学習の時間」における博物館・文化財活用 －学校におけるコンピュータを介した博物館資料の活用－
第 12 集	平成 20 年度	コンピュータによる博物館資料を活用した学習指導の在り方
第 13 集	平成 22 年度	博物館の常設展示を活用した授業づくり ～新学習指導要領のねらいに迫る博物館資料の活用～
第 14 集	平成 24 年度	博物館の資料を活用した授業づくり ～博物館授業と訪問授業の工夫～
第 15 集	平成 26 年度	博物館の資料を活用した授業づくり ～社会科における博物館資料の効果的な活用～
第 16 集	平成 28 年度	博物館（人・もの・箱）を活用した授業づくり ～社会・英語・総合的な学習の時間における博物館の効果的な活用～
第 17 集	平成 30 年度	伝統を受け継ぎ伝えていくための、博物館を活用した授業づくり ～新学習指導要領のねらいに迫る博物館の効果的な活用～
第 18 集	令和２年度	伝統・文化の継承やスポーツとの関わりを探求する博物館を活用した授業づくり ～社会科・体育・保健体育科・総合的な学習の時間における博物館の効果的な活用～
第 19 集	令和４年度	川越の魅力を学び・発信できる子供を育む単元計画の作成と授業づくり ～総合的な学習の時間における効果的な博物館の活用～
第 20 集	令和６年度	「ふるさと川越の魅力を探究し・発信できる子どもを育む授業づくり」 －1 人 1 台端末を利用した効果的な博物館の活用－

＊『やまぶき』は博物館利用研究委員会の研究成果をまとめた報告集。博物館利用研究委員会は、教育課程に位置付けた博物館活用を研究するため、市内小・中学校の校長、教頭及び教諭で構成。

③ 文書目録等

シリーズ名	名　　称	刊 行 年
収蔵文書目録 第 1 集	収蔵文書目録（1）伊藤禎二氏寄贈文書目録	平成 2 年
収蔵文書目録 第 2 集	収蔵文書目録（2）灌頂院寄託文書	平成 3 年
収蔵文書目録 第 3 集	光西寺松井家文書目録	平成 3 年
収蔵文書目録 第 4 集	収蔵文書目録（3）入間郡打越村・岸伝平氏収集文書	平成 4 年
	中福阿弥陀堂文書目録	平成 4 年
収蔵文書目録 第 5 集	収蔵文書目録（4）上寺山時田家文書・三芳野神社近代史料	平成 5 年
収蔵文書目録 第 6 集	今福山口家文書目録	平成 6 年
収蔵文書目録 第 7 集	豊田本自治会保管文書目録	平成 6 年
収蔵文書目録 第 8 集	上新河岸遠藤家文書目録	平成 7 年
収蔵文書目録 第 9 集	収蔵文書目録（5）比企郡上熊井村文書	平成 7 年
収蔵文書目録 第 10 集	収蔵文書目録（6）香取家文書	平成 9 年
収蔵文書目録 第 11 集	収蔵文書目録（7）山畠家文書	平成 10 年
収蔵文書目録 第 12 集	収蔵文書目録（8）諸家文書	平成 11 年
収蔵文書目録 第 13 集	収蔵文書目録（9）山畠家文書追加・小高亨氏寄贈山畠家文書	平成 12 年
	川越城二の丸発掘調査報告書	平成 12 年
収蔵文書目録 第 14 集	古谷上松本家文書目録（1）	平成 13 年
収蔵文書目録 第 15 集	古谷上松本家文書目録（2）	平成 14 年
収蔵文書目録 第 16 集	南田島自治会保管文書目録・連雀町自治会保管文書目録	平成 15 年
	川越城跡第４次調査発掘調査報告書	平成 16 年
	川越城跡第２次調査発掘調査報告書	平成 18 年
収蔵文書目録 第 17 集	渡辺刀水収集文書目録	平成 19 年
収蔵文書目録 第 18 集	収蔵文書目録（10）元町戸田家	平成 20 年
収蔵文書目録 第 19 集	太田家文書目録	平成 21 年
収蔵文書目録 第 20 集	収蔵文書目録（11）木村家・山崎家・矢島家・松岡家	平成 22 年
収蔵文書目録 第 21 集	収蔵文書目録（12）喜多町染谷家・六軒町中澤家	平成 23 年
収蔵文書目録 第 22 集	大中居長嶋家・仙波原家文書目録	平成 24 年
収蔵文書目録 第 23 集	菅間竹ノ谷家文書目録	平成 25 年
収蔵文書目録 第 24 集	上寺山帯津家文書目録	平成 26 年
収蔵文書目録 第 25 集	収蔵文書目録（13）細田源吉文書	平成 27 年
収蔵文書目録 第 26 集	収蔵文書目録(14) 大谷家文書・梅田家文書・光西寺松井家文書	平成 28 年

シリーズ名	名　　称	刊 行 年
	川越藩松平大和守家記録　一	平成 28 年
	川越喜多町名主御用日記　一	平成 28 年
収蔵文書目録 第 27 集	下広谷自治会保有文書	平成 28 年
	川越藩松平大和守家記録　二	平成 29 年
	川越喜多町名主御用日記　二	平成 29 年
収蔵文書目録 第 28 集	小杉権次郎氏収集文書・旧鍛冶町名主北野家文書目録	平成 29 年
	川越藩松平大和守家記録　三	平成 30 年
	川越喜多町名主御用日記　三	平成 30 年
収蔵文書目録 第 29 集	旧鏡山酒造竹内家文書目録	平成 30 年
	川越藩松平大和守家記録　四	平成 31 年
	川越喜多町名主御用日記　四	平成 31 年
収蔵文書目録 第 30 集	笠幡　発智家文書目録	平成 31 年
	川越藩松平大和守家記録　五	令和 2 年
	川越喜多町名主御用日記　五	令和 2 年
	川越藩松平大和守家記録　六	令和 2 年
	川越藩松平大和守家記録　七	令和 5 年
収蔵文書目録 第 31 集	大護八郎収集文書目録	令和 6 年
収蔵文書目録 第 32 集	大袋新田　内田家文書目録	令和 6 年
	川越藩松平大和守家記録　八	令和 6 年
	川越藩松平大和守家記録　九	令和 7 年
収蔵文書目録 第 33 集	六軒町茂木家文書・綾部勝五郎家文書	令和 8 年

④ 博物館だより

号 数	発行年度	主　　な　　内　　容
創刊号	平成 2 年 10 月	発刊によせて
2 号	平成 3 年 6 月	第 1 回収蔵品展
3 号	平成 3 年 8 月	市川渡と「博物館」
4 号	平成 4 年 2 月	１本の円筒埴輪から－伝 下小坂出土の円筒埴輪について－
5 号	平成 4 年 3 月	川越の生んだ鬼才－岩崎勝平
6 号	平成 4 年 8 月	「主図合結記」本の川越城図と静嘉堂文庫蔵「武州川越城図」について
7 号	平成 4 年 12 月	近世から近代に活躍した川越ゆかりの画人たち
8 号	平成 5 年 3 月	川越大火百年－大火の歴史と街づくり－
9 号	平成 5 年 11 月	川越に牛が来た頃－川越の犂－
10 号	平成 6 年 2 月	“三芳野神社の謎”のはなし
11 号	平成 6 年 3 月	二代目川越藩主酒井忠利書状について
12 号	平成 6 年 12 月	第 5 回収蔵品展より「安齋家の幻燈機」
13 号	平成 7 年 2 月	「武総将棋手相鑑」と川越（上）
14 号	平成 7 年 3 月	神さま絵かき岩崎勝平－その芸術と生涯－
15 号	平成 7 年 11 月	第 8 回企画展「川越学事始め－郷土史の系譜を追う」
16 号	平成 8 年 3 月	学校の行事に見る子供たちの生活－戦時下の川越より－
17 号	平成 8 年 3 月	開館 5 周年記念特別展「酒井忠勝にみる近世大名の姿」
18 号	平成 8 年 8 月	第 9 回企画展「古墳時代の川越」
19 号	平成 9 年 1 月	川越箪笥産業の記録
20 号	平成 9 年 3 月	新発見の氷川祭礼絵巻
21 号	平成 9 年 8 月	第 10 回企画展「町割から都市計画へ－絵地図でみる川越の都市形成史－」
22 号	平成 10 年 1 月	第 7 回収蔵品展「暮らしのあかり」
23 号	平成 10 年 3 月	第 11 回企画展「川越氷川祭礼の展開」
24 号	平成 10 年 7 月	川越に残る建物ウオッチングー川越の洋風建築と保岡勝也－
25 号	平成 10 年 11 月	江戸リサイクル再考－陶磁器の焼継ぎを中心として－
26 号	平成 11 年 3 月	古代の川越のまつり
27 号	平成 11 年 7 月	下小坂の獅子舞
28 号	平成 11 年 11 月	武州高麗郡下小坂村絵図について
29 号	平成 12 年 3 月	川越藩腰物拝見録－刀剣から見た近世武家社会－
30 号	平成 12 年 7 月	中福村絵図について
31 号	平成 12 年 11 月	子ども博物館教室 「川越の歴史探検－ピンホールカメラを作って文化財を写そう－」
32 号	平成 13 年 3 月	石仏のはなし
33 号	平成 13 年 7 月	木野目村絵図に描かれた情報を読む
34 号	平成 13 年 11 月	博物館資料から児童・生徒の見学学習のネタをさがして－鏡のはなし－
35 号	平成 14 年 3 月	新たに確認された大山灯籠と奉納木太刀
36 号	平成 14 年 7 月	出前授業－その実践と雑感－
37 号	平成 15 年 1 月	近代化と赤煉瓦Ⅲ

号 数	発行年度	主　　な　　内　　容
38 号	平成 15 年 3 月	武州河越住則重考－後北条氏配下の刀工たち－
39 号	平成 15 年 7 月	橋本雅邦「画宝会席画筆記　附起源一」記録について
40 号	平成 15 年 12 月	川越の映画館の変遷
41 号	平成 16 年 3 月	地口行灯について
42 号	平成 16 年 7 月	江戸時代川越近郊村々特産の瓜・茄子・青物の出荷について
43 号	平成 16 年 12 月	刀工藤枝英義とその時代
44 号	平成 17 年 3 月	第 15 回ミニ展「むかしの勉強・むかしの遊び」をふりかえって
45 号	平成 17 年 7 月	川越城築城に関する研究ノート
46 号	平成 17 年 12 月	教室で授業をするのと同じように博物館を活用してみませんか！
47 号	平成 18 年 3 月	戦時中の紙芝居と国民
48 号	平成 18 年 7 月	奈良絵本「ちかはる」について
49 号	平成 18 年 12 月	野外博物館教室「まちなかの美をあるく」から
50 号	平成 19 年 3 月	松平周防守家伝来の旗について
51 号	平成 19 年 9 月	災害と「地域の結びつき」を考える－川越の火事の記録と記憶から－
52 号	平成 19 年 12 月	シンポジウム「戦国時代のかわごえ」
53 号	平成 20 年 3 月	松平大和守侯行列図巻の紹介
54 号	平成 20 年 8 月	芭蕉百回忌祭文「祭芭蕉翁文」と『俳諧茂ヽ代草』
55 号	平成 20 年 12 月	本丸御殿を復元する－古絵図を用いた等角投影図の作成－
56 号	平成 21 年 3 月	川越城本丸御殿の杉戸絵
57 号	平成 21 年 7 月	古文書を読み解く－沢庵和尚の書状をめぐって－
58 号	平成 21 年 12 月	国指定史跡河越館跡－最新の研究成果と史跡整備－
59 号	平成 22 年 3 月	松平大和守家文庫「御在城中年中行事」の紹介
60 号	平成 22 年 7 月	川越城下の御鷹部屋
61 号	平成 22 年 12 月	公教育制度のはじまり－初等教育草創期の学校制度－
62 号	平成 23 年 3 月	川越城本丸御殿保存修理工事－平成の修理を振り返る－
63 号	平成 23 年 7 月	同盟通信社川越分室について
64 号	平成 23 年 12 月	江戸時代の「善行」－「武州川越善行録」にみる城下町の人々とくらし－
65 号	平成 24 年 3 月	鶴と星七宝に四方花菱文様蒔絵鞍・鐙について
66 号	平成 24 年 7 月	古尾谷八幡神社に残された将軍の朱印状
67 号	平成 24 年 12 月	川越商工会議所資料について
68 号	平成 25 年 3 月	新たな博物館学習の展開
69 号	平成 25 年 7 月	江戸に進出する川越町人
70 号	平成 25 年 12 月	川越に残る近世・近代の石積とその変遷
71 号	平成 26 年 3 月	川越時代の大興寺と東照宮の変遷
72 号	平成 26 年 7 月	伊能図に描かれた川越
73 号	平成 26 年 12 月	伝えられた歴史文化―「初雁」の由来から紐解く―

号 数	発行年度	主　　な　　内　　容
74 号	平成 27 年 3 月	新指定文化財「葵御紋大旗」の再考
75 号	平成 27 年 8 月	「大家」墨書土器から川越の古代史を考える
76 号	平成 27 年 12 月	川越藩士の神隠し―安政五年皆川市郎平の一件から―
77 号	平成 28 年 3 月	「家康天海対座図」の紹介
78 号	平成 28 年 8 月	川越市指定史跡・三変稲荷神社古墳出土の鼉龍鏡
79 号	平成 28 年 12 月	第 2 回川越の指定文化財展を終えて
80 号	平成 29 年 3 月	第 44 回企画展「蔵・倉・くら―蔵造りと川越の町並みを知ろう―」によせて
81 号	平成 29 年 8 月	ペリー来航と川越藩の対応
82 号	平成 29 年 12 月	わたしたちの郷土川越展「自由研究の部」新設
83 号	平成 30 年 3 月	三芳野天神社絵図の紹介
84 号	平成 30 年 8 月	近世考古学への招待―江戸時代のやきものの見方・考え方―
85 号	平成 30 年 12 月	「事後継志録」にみる松平信綱（１）―「智恵伊豆」の実像―
86 号	平成 31 年 3 月	川越の船問屋、伊勢安作成の「甘藷受払帳」についての一考察
87 号	令和元年 8 月	館蔵資料紹介　六尺押絵羽子板
88 号	令和元年 12 月	博物館ノート　戦争体験―語り継ぎたい平和の心―を実施して
89 号	令和 2 年 3 月	博物館ノート　少しでも大きく、少しでも立派に…　壺形埴輪のはなし
90 号	令和 3 年 3 月	松平周防守家居合師範羽方家の日常

６　展示事業

（１）　企画展示等

①第 52 回企画展「川越の地口行灯――一力齋とうろう絵の世界ふたたび―」

・**会　　期**　令和 7 年 7 月 19 日(土)～9 月 28 日(日)



・**展示概要**　江戸時代後期から一力齋という屋号で代々地口絵（とうろう絵）を描き続けてきた提灯屋に焦点を当て、今も市内大手町で継承されているその伝統と技術を紹介した。令和２年度にコロナ禍で公開を断念した企画展に修正と追加を加え、江戸時代の人々のくらしや文化を考えるとともに、多彩なことば遊びの世界を展示・紹介した。



・**展示構成**　第１章　とうろう絵を描く
　　第２章　一力齋とうろう絵の世界
　　第３章　地口行灯のある風景
　　第４章　とうろう絵からみた江戸文化
・**主な展示資料及び資料点数**　とうろう絵　ほか 114 点
・**入館者数**　12,183 人（１日平均 206 人）
・**印 刷 物**　ポスター・チラシ・パンフレット・ステッカー
・**関連事業**　博物館歴史講座
　・「『地口行灯』の作り手と広がり」
　　実施日　8 月 31 日（日）
　　講　師　足立区立郷土博物館　学芸員　荻原ちとせ氏
　・「川越市域の民俗文化財と地口行灯」
　　実施日　9 月 7 日（日）
　　講　師　文化財保護課職員
　「とうろう絵実演」
　　実施日　9 月 13 日（土）
　　講　師　一力齋津知屋提灯店　土屋澄子氏

②令和７年度埼玉県名刀展「備前伝の刀剣」

・**会　　期**　令和 7 年 10 月 25 日(土)～11 月 16 日(日)



・**展示概要**　本展覧会は埼玉県刀剣保存協議会との共催事業であり、本年度で 67 回目を迎える。出品資料は埼玉県刀剣保存協議会会員所蔵の刀剣・刀装具であるが、今回は名工を多く輩出した備前国（現岡山県南東部）に所縁のある資料を一堂に集めて展示した。博物館からは松平周防守家の家臣の家に伝わった太刀「備前福岡一文字吉房」を特別出品した。

・**主な展示資料及び資料点数**



太刀　行秀（古備前）　ほか 47 点

・**入館者数**　8,466 人（1 日平均 423 人）

・**印 刷 物**　ポスター・チラシ・パンフレット

・**関連事業**　職方実演

・柄巻き実演（柄巻師　飯山隆司氏）
10 月 26 日（日）

・刀身銘切実演（刀身彫師　下島宙氏、高橋恒厳氏）　11 月 1 日（土）

・白鞘製作実演（白鞘師　堀越隆夫氏）　11 月 16 日（日）

出品刀解説

埼玉県刀剣保存協議会会員　小島寛氏　11 月 2 日（日）、3 日（月・祝）

③第 33 回「むかしの勉強・むかしの遊び」展

・**会　　期**　令和 7 年 12 月 20 日(土)～3 月 1 日(日)



・**展示概要**　鉄道交通や自動車交通が盛んになる時代を区分し、町の変遷や人々のくらし、学校の勉強や遊びなどを紹介し、身近な文化財に目を向ける契機となる展示とした。

展示では、アイキャッチとして「音の移り変わり」を展示し、本展示では「生活道具」「勉強」「遊び」に関わる資料を展示するとともに、学校のようすや町のようすの移り変わりがわかる写真パネルを数多く展示した。

こどもにとってわかりやすいものにするために、こども向けのキャプションの設置や特別展示室への誘導看板を掲示した

・**展示構成**



Ⅰ　アイキャッチ
音の移り変わりの展示

Ⅱ　再現展示
駄菓子屋・台所・居間・教室の展示

Ⅲ　鉄道交通が盛んになるころ
明治～昭和 20 年代の「くらしの道具」「学習用具」「遊び道具」の展示

Ⅳ　自動車交通が盛んになるころ
昭和 30 年代から 50 年代の「くらしの道具」「学習用具」「遊び道具」の展示

Ⅴ　電化製品の移り変わり
氷冷蔵庫や二層式洗濯機等の展示

・**主な展示資料及び資料点数**　川越市の写真パネルや生活・勉強・遊び道具など約200点

・**入館者数**　11,963 人（1 日平均 222 人）

・**印 刷 物**　チラシ・パンフレット

④第 33 回収蔵品展「石でつくった！」

・**会　　期**　令和 8 年 3 月 21 日(土)～5 月 24 日(日)



・**展示概要**　古くから生活の様々な場面で利用されてきた石に着目し、様々な種類の石製品を展示することで、目的ごとに異なる石の性質や加工方法、さらには石製品と人々の生活にまつわる地域史を紹介した。

・**展示構成**　第１章　石を使った
第２章　石で飾った
第３章　石へ記した
第４章　石に祈った



・**主な展示資料及び資料点数**　　打製石斧　ほか 82 点
・**入館者数**　9,880 人(１日平均 186 人)
・**印 刷 物**　ポスター・チラシ・パンフレット
・**関連事業**　野外博物館教室「喜多院で石巡り」
実施日　4 月 26 日（日）
講　師　博物館職員
体験講座「かりうちで遊ぼう」
実施日　3 月 28 日（土）、5 月 17 日（日）
講　師　博物館職員
「はじめての石器入門講座」
実施日　5 月 24 日（日）
講　師　博物館職員

（２） ふるさとのまつりコーナー展示

展　示　名	期　　間
中福の神楽	1/25(土)～4/24(木)
下小坂の獅子舞	4/26(土)～7/24(木)
今福の祭り囃子	7/26(土)～10/23(木)
南大塚の餅つき踊り	10/25(土)～1/22(木)
老袋の万作	1/24(土)～4/23(木)

（３） ギャラリー展示

展　示　名	期　　間
蔵造り資料館耐震化工事写真パネル展	6/28(土)～8/21(木)
川越まつり写真パネル展	8/23(土)～10/23(木)
第 36 回「わたしたちの郷土川越展」	11/1(土)～12/1(月)

（４） 展示解説

来館者への展示解説を行う展示解説員を配置し、常設展示・企画展示における案内や解説を実施している。個人・団体を問わず幅広く対応し、博物館活動の普及・教育に寄与している。

○常設展示解説時間：10 時、11 時、14 時、15 時（4 回/日）

○展示解説実績（常設展示解説含む）

期　　間	解説利用者数
令和 7 年 9 月～令和 8 年 3 月	4,953 名

7　教育普及事業

（１）講座・教室等の開催

① こどもを対象とした事業

Ⅰ　こども体験教室（１日コース）

様々な体験を通して歴史や文化に触れることを目的とする。特に１日かけて実施する事業である。

Ⅱ　こども体験教室（半日コース）

様々な体験を通して歴史や文化に触れることを目的とする。主に土曜日に午前・午後の２回実施する事業である。

Ⅲ　こども体験教室（夏休み特別企画）

夏休み期間中に、博物館で楽しく体験できる場を提供することで、歴史や文化財に対する理解や関心を深めることを目的としている。

Ⅳ　遊びの時間

夏休み期間中に、博物館で昔のこどもたちの遊びを体験することで、博物館に親しんでもらうことを目的とする。

主な遊びは、水鉄砲・水ヨーヨー・笹舟・手作りおもちゃ（コマ、缶積み、紙相撲、魚釣り）・紙芝居・輪投げ・割り箸鉄砲などである。

② 大人を対象とした事業

Ⅰ　古文書講座入門編

初心者を対象に、江戸時代の簡単な古文書を読み解き、独特なくずし字に親しむことで、古文書への興味と関心を高めることを目的とする。

Ⅱ　古文書講座初級編

古文書講座などの経験者を対象に、初級レベルのくずし字を学ぶ。川越に残る江戸時代の古文書を読み解き、郷土に対する興味と関心を高めることを目的とする。

Ⅲ　古文書講座中級編

江戸時代の川越に関する資料の解読を行い、古文書の読解力向上を図る。

Ⅳ　博物館歴史講座

川越の歴史と文化について理解を深め、歴史に親しむことを目的とする。

Ⅴ　大人体験教室

あい染めや友禅染め、縄文土器などの製作を通じて、伝統技能や当時の人々の思いに触れることで、歴史や伝統文化に親しむ契機となることを目的とする。

Ⅵ　野外博物館教室

地域の伝統文化を見学することにより、地域の伝統文化の再発見を促し、郷土の歴史や文化に関心を持ってもらうことを目的とする。

Ⅶ　民俗芸能実演

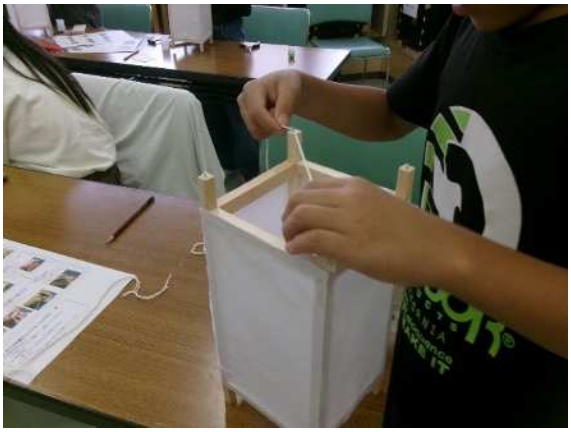
指定無形民俗文化財の実演を通じて、川越に伝わる民俗芸能に親しむ機会を提供し、文化財保護の高揚に資することを目的とする。

《こどもを対象とした事業一覧表》

事業名		開催日		定員	応募者数	体験者数	ボランティア・講師	総参加者数	内　容	講　師
こども体験教室（半日コース）	1	4月19日	土	40	37	36	1	37	まが玉を作ろう	館職員
	2	5月10日	土	40	33	29	12	41	あいぞめでハンカチ作り	川越唐桟手織りの会
	3	5月31日	土	14	43	12	10	22	茶道体験	川越茶友会
	4	6月7日	土	20	48	18	10	28	よろいを着て武士の世界へタイムスリップ	獅子の会
	5	7月5日	土	10	20	10	14	24	ミニまこも馬作り	鈴木邦照氏
	6	9月27日	土	12	18	9	9	18	昔の織物に挑戦	機織り委員会
	7	10月4日	土	24	30	20	10	30	香道体験	お香の会
	8	11月15日	土	12	77	11	3	14	はにわを作ろう	川越縄文土器の会
	9	12月13日	土	16	52	16	10	26	お正月飾りを作ろう	館職員
	10	1月10日	土	10	32	8	10	18	まゆ玉飾りを作ろう	館職員
	11	2月21日	土	無	－	102	11	113	昔の道具を使ってみよう	館職員
	12	3月14日	土	20	40	20	11	31	和紙作りに挑戦	手漉き和紙　たにの
	合計			218	430	291	111	402		
こども体験教室（夏休み特別企画）	1	8月7日	木	20	31	19	4	23	ミニ灯籠を作ろう	館職員
	2	8月20日	水	40	63	38	20	58	まが玉を作ろう	館職員
	合計			60	94	57	24	81		
	1	7月26日	土	無	ー	95	16	111	遊びの時間（紙芝居、ヨーヨー釣り、笹船作り等）	館職員
	合計					95	16	111		
こども対象事業合計				278	524	443	151	594		



こども体験教室「はにわを作ろう」
博物館体験学習室にて



こども体験教室「ミニ灯籠を作ろう」
博物館体験学習室にて

《大人を対象とした事業一覧表》

講座・講演会・見学会

事業名	NO.	開催日	曜	定員	応募者数	体験者数	ボランティア・講師	総参加者数	内　容	講　師
古文書講座	1	8月24日	日	40	58	37	2	39	古文書講座 入門編	館職員
	2	9月21日	日	40	57	36	2	38	古文書講座 初級編	佐藤啓子氏（川越市文化財保護審議会委員）
	3	9月28日	日	40	57	26	2	28	古文書講座 初級編	同上
	4	10月5日	日	40	57	29	2	31	古文書講座 初級編	同上
	5	10月12日	日	40	26	22	3	25	古文書講座 中級編	重田正夫氏（埼玉県地方史研究会会長）
	6	10月26日	日	40	26	22	3	25	古文書講座 中級編	同上
	7	11月9日	日	40	26	18	2	20	古文書講座 中級編	同上
	合計			280	307	190	16	206		
博物館歴史講座	1	8月31日	日	80	42	31	2	33	地口行灯	荻原 ちとせ氏（足立区立郷土博物館）
	2	9月7日	日	80	42	35	1	36	地口行灯	文化財保護課職員
	3	2月15日	日	80	80	69	2	71	川越の近世	文化財保護課職員
	4	2月22日	日	80	80	67	3	70	川越の近世	栗原 健一 氏（立正大学文学部専任講師）
	5	3月8日	日	80	80	64	4	68	川越の近世	館職員
	合計			400	324	266	12	278		

講座・講演会・見学会

事業名	NO.	開催日	曜	定員	応募者数	体験者数	ボランティア・講師	総参加者数	内　容	講　師
講演会等	1	8月3日	日	80	−	27	0	27	戦争体験者証言ビデオ上映会	―
	2	12月7日	日	80	−	40	2	42	戦争体験を語り継ぐ	佐藤 孝則氏
	合計			160	0	67	2	69		
見学会	1	2月7日	日	45	33	28	0	28	蔵造り資料館店蔵耐震化工事現地見学会	館職員
	合計			45	33	28	0	28		
講座・講演会・見学会合計				885	664	551	30	581		

教室

事業名		開催日	曜	定員	応募者数	体験者数	ボランティア・講師	総参加者数	内　容	講　師
大人体験教室	1	5月11日	日	28	28	22	11	33	あいぞめでストール作り	川越唐桟手織りの会
	2	9月6日	土	16	16	16	4	20	友禅染め体験	千代田靖苑氏
	3	11月22日	土	12	55	9	4	13	縄文土器作り教室	川越縄文土器の会
	4	1月31日	土	40	19	17	3	20	まが玉を作ろう	館職員
	5	3月28日	土	20	12	12	0	12	かりうちで遊ぼう	館職員
	合計			116	130	76	22	98		
野外博物館教室	1	2月11日	水	20	18	14	0	14	老袋の弓取式	館職員
	合計			20	18	14	0	14		
教室合計				136	148	90	22	112		

実演

事業名		開催日	曜	定員	応募者数	見学者数	ボランティア・講師	総参加者数	内　容	講　師
とうろう絵実演	1	9月13日	土	無	−	35	1	36	とうろう絵実演	土屋 澄子氏（一カ齋津知屋提灯店）
柄巻き実演	2	10月26日	日	無	−	110	1	111	柄巻き実演	飯山 隆司氏（柄巻師）
銘切実演	3	11月1日	土	20	32	195	2	197	銘切実演 （銘切プレートを抽選により20人に進呈）	下島 房宙氏・高橋 恒厳氏（刀鍛冶）
出品刀解説	4	11月2日・3日	日月・祝	無	−	68	1	69	出品刀解説	小島 寛氏（埼玉県刀剣保存協議会会員）
民俗芸能実演	5	11月3日	月・祝	無	−	207	16	223	南田島の足踊り	南田島囃子連足踊り保存会
白鞘製作実演	6	11月16日	日	無	−	127	1	128	白鞘製作実演	堀越 隆夫氏
実演合計				20	32	742	22	764		



博物館歴史講座「川越の近世」
博物館視聴覚ホールにて



野外博物館教室「老袋の弓取式」
氷川神社（下老袋）にて

（２）博物館ボランティア

① ジュニアボランティア

目　的

家庭、学校、地域社会が一体となって青少年の豊かな人間性や社会性を育てていくことが強く求められている中で、ボランティア活動の重要性が一層高まっている。次代を担うこどもたちが、率先してこのような活動に参加できる機会を提供し、何事にも意欲的に取り組む心を育てることをねらいとする。

内　容

こども体験教室の手伝い（受付、参加者の活動支援、後片付け等）

活動日時

こども体験教室開催日（10：00～12：00、13：30～15：30）

対　象

小学校5年生～高校生までの児童・生徒

その他

当館負担のボランティア保険に加入する。謝金、交通費、食糧費等の支給はなし。

② 市民ボランティア

目　的

いろいろな技術や特技を持った市民や団体の方に、ボランティアとして当館主催事業に協力していただくことで、事業内容の充実と事業運営の効率化を図る。また、ボランティア活動をとおして、博物館活動への理解とボランティア間の交流を深める。

登録方法

一般公募をし、ボランティア活動説明会に参加した後、当館の事業運営の方針と活動の趣旨に同意した方を名簿に登録する。

主な活動事業及び活動内容

事　　業　　名	活　　動　　内　　容
こども体験教室、夏休みこども体験、遊びの時間、大人体験教室	体験活動の支援及び指導、資材の準備、当日の運営、後片づけ
「むかしの勉強・むかしの遊び」展	市内小・中学校児童・生徒への学習支援（主に小学校3年生）
野外博物館教室等	受付、引率補助
歴史講座等	受付
蔵造り資料館ガイド	休館中のため活動なし
本丸御殿ガイド	20分程度のガイド （令和7年度 解説利用者数1,057名）

その他

当館負担のボランティア保険に加入する。謝金、交通費、食糧費等の支給はなし。

（３）博物館同好会

目　的

生涯学習の場として多様な学習機会を提供し、市民参加による博物館活動の拡充を図る。

講座・教室等の企画・運営に協力し、教育普及活動の内容の充実と事業運営の円滑化を図る。

登録団体

原則として、当館の講座・教室等の参加者を基盤として構成された団体で、博物館活動の趣旨を理解し協力できると認められる団体。

令和６年度同好会

川越縄文土器の会、川越唐桟手織りの会、川越古文書同好会、機織り委員会

① 講座・教室等への協力

事　業　名	事　業　内　容	活動内容	活動日	同　好　会　名
こども体験教室	あいぞめでハンカチ作り	講師	5/10 土	川越唐桟手織りの会
大人体験教室	あいぞめでストール作り	講師	5/11 日	川越唐桟手織りの会
こども体験教室	昔の織物に挑戦	講師	9/27 土	機織り委員会
大人体験教室	縄文土器作り教室	講師	11/22 土	川越縄文土器の会
「むかしの勉強・むかしの遊び」展	市内小学校 3 年生児童への学習支援	支援	―	全同好会 川越市更生保護女性会

② 機織り実演・体験（体験学習室）

唐桟実演・体験　毎週木・日曜日　10：00～12：00、13：00～14：40（川越唐桟手織りの会）

その他

当館負担のボランティア保険に加入する。

（４）松平大和守家記録を読む会

目　的

明和 4 年(1767)から約 100 年間川越城主であった松平大和守家の日々を記録した「松平大和守家記録」の翻刻を行う。

登録方法

古文書講座中級編を受講した後、趣旨に同意した受講生を中心に登録

活動日時

毎月第 2 火曜日を基本とした午前 10 時 30 分～午後 3 時 30 分

活動成果

「川越藩松平大和守家記録　９」を刊行。天明 6 年及び天明 7 年分を翻刻。

その他

当館負担のボランティア保険に加入する。

8　学校教育との連携事業

（1）学校教育との連携事業

目　的

小・中・高等・特別支援学校等の社会科等の教科並び総合的な学習の時間等の領域の学習内容に応じた学習支援に努める。

①　学校の利用状況

年度		博物館				本丸御殿				蔵造り資料館			
項目		学校	引率者	児童生徒学生	利用者	学校	引率者	児童生徒学生	利用者	学校	引率者	児童生徒学生	利用者
小学校	川越市内	76	298	6139	6437	7	29	300	329	耐震化工事のため休館中			
	埼玉県内	60	278	3411	3689	25	120	1651	1771				
	埼玉県外	3	12	139	151	5	26	331	357				
	合　計	139	588	9689	10277	37	175	2282	2457				
中学校	川越市内	20	131	1664	1795	14	104	1417	1521				
	埼玉県内	54	348	4876	5224	59	380	4979	5359				
	埼玉県外	63	440	6353	6793	64	456	6133	6589				
	合　計	137	919	12893	13812	137	940	12529	13469				
特別支援学校等	川越市内	2	7	21	28	1	3	11	14				
	埼玉県内	3	19	49	68	3	13	25	38				
	埼玉県外	4	31	89	120	3	27	78	105				
	合　計	9	57	159	216	7	43	114	157				
幼稚園保育園	川越市内	0	0	0	0	1	4	34	38				
	埼玉県内	0	0	0	0	0	0	0	0				
	埼玉県外	0	0	0	0	0	0	0	0				
	合　計	0	0	0	0	1	4	34	38				
高等学校	川越市内	2	26	643	669	3	26	658	684				
	埼玉県内	2	8	84	92	0	0	0	0				
	埼玉県外	2	5	67	72	2	5	67	72				
	合　計	6	39	794	833	5	31	725	756				
大学	川越市内	3	14	208	222	0	0	0	0				
	埼玉県内	1	1	17	18	1	1	17	18				
	埼玉県外	4	8	104	112	1	1	21	22				
	合　計	8	23	329	352	2	2	38	40				
累計	川越市内	103	476	8675	9151	26	166	2420	2586				
	埼玉県内	120	654	8437	9091	88	514	6672	7186				
	埼玉県外	76	496	6752	7248	75	515	6630	7145				
	総　計	299	1626	23864	25490	189	1195	15722	16917				

② バス利用による博物館学習（市内小学6年生・3年生）

概　要

○バス利用を希望する学校に借上バスを配車し、児童の送迎を実施
○各学校の社会科年間指導計画に位置づけた学習として実施
○各学校の要望に応じた博物館学習の支援
○小学校第3学年の学習に応じた企画展の開催や体験活動の実施
○館職員や学習アドバイザー（市民ボランティア）による学習支援

状　況

	小学校第 6 学年	小学校第 3 学年
実施期間	○令和 7 年 6 月 6 日～7 月 2 日 ○令和 7 年 9 月 5 日～10 月 28 日	○令和 8 年 1 月 14 日～3 月 13 日
実施日数	○19 日間 ・バスを利用した日数：16 日 ・徒歩で利用した日数：3 日	○22 日間 ・バスを利用した日数：16 日 ・徒歩で利用した日数：3 日 ・出前授業で利用した日数：3 日
配車台数	○延べ 32 台（1 日 2 台×16 日）	○延べ 68 台（1 日 3～6 台×16 日）
学校数	○32 校／32 校中	○32 校／32 校中
児童数	○2,940 名	○2,664 名

③ 小学校社会科「県内の特色ある地域」の学習を目的とした学校への支援（小学4年生）

概　要

○校外学習で博物館等の施設を利用する際の資料解説等の支援

○学習のねらいに迫る効果的な見学地・見学経路・見学内容等の紹介

○博物館等の施設での学習を支援する「学習カード」の開発・ＨＰ掲載

○授業で使える教材や情報の提供、人材の紹介

状　況

項 目 館 種	博　物　館	蔵造り資料館	本丸御殿
利用学校数	61 校	休館中	25 校
児　童　数	3,514 名		1,651 名

④ 博物館職員による訪問授業

概　要

○博物館等の施設に訪問できない学校を対象とした学習支援

○訪問授業で利用できる資料の作成

状　況

○校外学習の学習計画を立案する際のアドバイザーとしての派遣

○県立塙保己一学園(小･中･高等部)での体験活動の支援

	のべ学校数	のべ学級・学部数	のべ児童数	学　年(校数)	教科等(校数)
小　学　校	23校	70学級	2,035名	3年(2),4年(10) 5年(2),6年(9)	社会(5) 総合(18)
中　学　校	8校	26学級	816名	1年(3),2年(3),3年(1) 特別支援学級(1)	総合(8)
県立塙保己一学園 (小･中･高等部)	1校	3学部	50名	小学部(1),中学部(1), 高等部(1)	社会(1)
市立特別支援学校	1校	2学級	12名	1年(1)	社会(1)

⑤「わたしたちの郷土川越展」

概　要

○博学連携の一環として、博物館の機能並びに環境を活かしたコンクールを開催

○市立小、中、特別支援学校より自由研究の部を募集

○歴史や文化・自然を対象とした児童生徒の研究物を博物館ギャラリーにて展示

○郷土川越に対する理解と認識を深め、郷土への愛着の醸成を図る機会とする

状　況

第36回　「わたしたちの郷土川越展」		
期　　間	令和7年11月1日～12月1日	
入館者数	10,424名	
応募点数	102点	
展示点数	入賞10点	入選20点

（２）教員対象の連携事業

目　的

川越市に勤務する小・中・高等・特別支援学校の教員を対象とした研修会を企画・運営し、積極的な博物館活用を推進できる教員の育成に努めること。

① 博物館利用研究委員会

概　要

○学校教育での博物館活用について、様々な教科・領域で効果的な活用を推進するための研究組織

○研究委員は川越市立小・中学校教員10名で構成

○「博物館資料を活用した授業づくり」を研究主題とし、博物館で行う授業と、学校に赴いて授業を支援する訪問授業の在り方を研究

状　況

回	実 施 日	主　な　活　動　内　容
1	7月8日 15:00～16:30	○全体会 ・本年度の研究内容 ・本年度の事業計画 ・要項の改定について
2	9月26日 15:00～16:30	○全体会 ・今後の研究について ・やまぶき１～１０集のデジタル化について
3	令和8年1月27日 15:00～16：30	○全体会 ・これからの博学連携のあり方についての考察 ・やまぶき１～１０集のデジタル化について ・今年度のまとめ

② 川越の歴史を学ぶティーチャーズセミナー

概　要

○川越市教職員研修の一環として実施した希望研修

○教職員の川越の歴史に対する理解を深め、地域に根ざした特色ある教育活動の推進と郷土川越を愛する児童生徒の育成に資するための研修

状　況

実 施 日	参加校	参加者	主　な　内　容
7月29日 9:00～12:00	8校	10名	○山王塚古墳と河越館跡について館内展示解説とフィールドワーク

（３）研修会等の受け入れ

目　的

学校や各種行政機関、博物館関係者等による実習・研修・調査等への要請に応じ博物館活用に関わる指導者の養成や情報の提供・発信等に努めること。

主なものは以下のとおり。

① 川越市立小・中学校初任者研修

概　要

○初任者研修の施設体験研修の一環として実施

○教育センターが企画し、講師として博物館職員が担当

○博学連携を学び、博物館を活用した学習ができる教員の育成を目的とした研修

状　況

実 施 日	校 種	参加者	主　な　内　容
8月19日 9:50～11:50	小学校 中学校	69名	○川越市立博物館における博学連携の取組

② 社会体験事業

概　要

○川越市立中学校及び高校、大学の要請による、博物館業務体験の実施

状　況

No.	実　施　日	期間	学　校　名	参加者	主 な 内 容
1	12月10日・11日	２日	城南中学校	２名	○教育普及活動に係る業務 ○資料の管理・保存に関する業務
2	1月20日・21日	２日	名細中学校	２名	
3	2月3日	１日	富士見中学校	３名	
4	2月17日・18日	２日	芳野中学校	３名	

③ 姉妹・友好都市交流事業

概　要

○姉妹・友好都市交流事業の一環として、中学生を派遣及び受入れする際の事前研修として川越の歴史の概要を学ぶ。

状　況

No.	実施日	団　体　名	参加者	主　な　内　容
1	7月31日	少年の翼	58名	○川越の歴史についての講義 ○常設展示室の案内
2	1月9日	中札内村中学生訪問団	14名	○常設展示室の案内

（４）博物館実習

大学名	人数	実　習　期　間
学習院大学	1	7 月 23 日(水)～7 月 30 日(水) 7 日間
十文字学園女子大学	1	
大東文化大学	1	
東京女子大学	1	
東洋大学	1	
明治大学	1	

９　資料の収集保管・活用

（１）資料の収集

① 令和７年度購入資料

購　入 件 数	資 料 点 数	内　　訳
2 件	4 点	古文書 2 点・模型 2 点

② 令和７年度寄贈資料

寄 贈 件 数	資 料 点 数	内　　訳
21 件	1,180 点	美術・工芸　900 点 歴史・民俗　246 点 古文書　34 点

③ 令和７年度末現在の館蔵資料（整理済分）

区　　分	点　　数
美術・工芸資料	1,304 点
歴史・民俗資料	23,348 点
古文書	19,187 点
総　数	43,839 点

（２）資料目録の作成　　『六軒町 茂木家文書・綾部勝五郎家文書』

（３）資料特別利用　　93 件　　455 点

（４）資料館外貸出　　3 件　　4 点

（５）レファレンス　　90 件

（６）撮影・取材協力
- 博　物　館　　9 件
- 本 丸 御 殿　　5 件
- 蔵造り資料館　　2 件

10　利用案内

（１）入館料

区 分	博物館	川越城本丸御殿	蔵造り資料館 ※２	共通入館（観覧）券 博物館美術館	博物館本丸御殿 蔵造り資料館 ※２	博物館本丸御殿 蔵造り資料館 美術館 ※２	博物館本丸御殿 蔵造り資料館 美術館 まつり会館 ※２	(期間限定) 博物館本丸御殿 美術館	(期間限定) 博物館本丸御殿 美術館 まつり会館
一　般	200 円	100 円	100 円	300 円	300 円	450 円	650 円	370 円	600 円
	160 円	80 円	80 円						
大学生 高校生	100 円	50 円	50 円	150 円	150 円	220 円	450 円	180 円	400 円
	80 円	40 円	40 円						

※　　下段： 20 名以上の団体料金

※　　中学生以下無料

※２　蔵造り資料館耐震化工事中のため取り扱いなし

（２）開館時間

午前９時から午後５時まで（入館は午後４時 30 分まで）

（３）休館日

月曜日（休日の場合は翌日）

第４金曜日（休日を除く）

年末年始（12 月 29 日～１月３日）　※蔵造り資料館は１月１日まで

館内消毒（６月下旬）及び特別整理期間（年１回）　※博物館のみ